

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月12日
【四半期会計期間】	第17期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	コムシスホールディングス株式会社
【英訳名】	COMSYS Holdings Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 加賀谷 卓
【本店の所在の場所】	東京都品川区東五反田二丁目17番1号
【電話番号】	(03)3448-7100
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 尾崎 秀彦
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東五反田二丁目17番1号
【電話番号】	(03)3448-7100
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 尾崎 秀彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第3四半期 連結累計期間	第17期 第3四半期 連結累計期間	第16期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	304,303	374,769	481,783
経常利益 (百万円)	20,436	22,219	36,071
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	18,272	14,459	28,018
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	16,229	15,046	26,253
純資産 (百万円)	293,257	303,943	301,459
総資産 (百万円)	412,738	440,333	439,926
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	153.11	112.60	230.10
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	152.51	112.30	229.21
自己資本比率 (%)	70.3	68.3	67.8

回次	第16期 第3四半期 連結会計期間	第17期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	85.95	43.86

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、コムシスグループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」に記載のとおりであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 財政状態

##### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ42億9千万円減少し、2,427億1千万円となりました。これは、現金預金が246億5千万円、未成工事支出金等が198億9千万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が525億5千万円減少したことなどによるものであります。当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ47億円増加し、1,976億1千万円となりました。これは有形固定資産が37億円、投資その他の資産が23億3千万円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億円増加し、4,403億3千万円となりました。

##### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億4千万円減少し、1,154億7千万円となりました。これは、短期借入金が234億3千万円増加し、支払手形・工事未払金等が203億6千万円、未払法人税等が53億5千万円減少したことなどによるものであります。当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ14億2千万円減少し、209億1千万円となりました。これは、長期借入金が19億1千万円減少し、その他が3億9千万円増加したことなどによるものであります。

##### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ24億8千万円増加し、3,039億4千万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が61億1千万円増加し、自己株式が46億8千万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.3%（前連結会計年度末は67.8%）となりました。

##### 経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境、企業収益の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復が期待されるものの、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引き上げ後の国内経済の動向に留意する必要があります。

コムシスグループを取り巻く情報通信分野におきましては、新規事業者の参入や電気通信事業法の改正等により通信事業者間の競争が激化する中、コンテンツ等の付加価値サービスが拡大しており、急増する大容量のトラフィックに対応するためモバイルネットワークの高度化が進められています。また、公共・民間分野におきましては、激甚化する自然災害に備えた防災・減災対策等の国土強靱化施策、再生可能エネルギー政策、東京オリンピック・パラリンピック開催等による社会インフラ投資や、IoT、AI（人工知能）、5G（第5世代移動通信）など新たなイノベーションを活用したICT投資の拡大が期待されています。

コムシスグループといたしましては、太陽光発電設備工事やバイオマス発電設備工事をはじめとした再生可能エネルギー事業や、スマート社会に向けた公共投資・ICT投資の増加に対応した新たな事業領域へのチャレンジ等トップラインの拡大に取り組んでまいりました。また、統合シナジーの早期創出を目指すとともに、成長事業分野への要員流動や、働き方改革の推進により施工効率の向上及び経費削減等の利益改善にも努めてまいりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高4,529億7千万円（前年同期比25.1%増）、売上高3,747億6千万円（前年同期比23.2%増）となりました。また、損益につきましては、営業利益211億5千万円（前年同期比7.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益144億5千万円（前年同期比20.9%減）となりました。なお、四半期純利益の減少は、前期に特別利益として計上した経営統合に伴う負のれん発生益の影響などによるものであります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本コムシスグループ)

キャリア系事業及び再生可能エネルギー事業、ITソリューション事業ともに好調に推移したことにより、受注高2,379億9千万円(前年度同期比23.5%増)となり、キャリア系事業の完成工事が減少したもののITソリューション事業や公共事業が好調に進捗したこと及び発電事業における売電の収益増加等により、売上高は1,851億8千万円(前年同期比2.5%増)となりました。営業利益につきましては、キャリア系事業の進捗遅れ等の影響により、103億5千万円(前年同期比15.0%減)となりました。

(サンワコムシスエンジニアリンググループ)

NCC設備事業の受注減少の影響等により、受注高412億9千万円(前年同期比2.5%減)となりましたが、売上が順調に推移し、売上高390億1千万円(前年同期比6.8%増)、営業利益36億円(前年同期比33.0%増)となりました。

(TOSYSグループ)

第2四半期連結会計期間より実施した日本コムシス株式会社との松本・長岡エリア分担変更により、受注高は220億3千万円(前年同期比31.9%増)、売上高は171億3千万円(前年同期比15.4%増)となりました。営業利益につきましては、エリア変更に伴う費用の増加等により1億7千万円(前年同期比69.0%減)となりました。

(つうけんグループ)

NTT関連事業の受注増加及び自治体工事・民間工事の受注拡大に取り組んできた結果、受注高398億5千万円(前年同期比4.7%増)となり、進行基準工事の進捗遅れ等の影響もあり売上高335億9千万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は23億3千万円(前年同期比12.5%増)となりました。

(NDSグループ)

通信事業者からの設備建設工事等の受注確保・拡大に加え、東海圏をはじめ首都圏・関西圏においても道路関連通信設備工事、建物内電気・通信設備工事、土木工事及びICT関連事業等の受注拡大に取り組んでまいりました。

この結果、受注高635億1千万円(前年同期比65.8%増)、売上高600億9千万円(前年同期比199.2%増)となり、営業利益25億7千万円(前年同期比123.6%増)となりました。

(SYSKENグループ)

通信事業者からの設備建設工事の受注確保に加え、主に九州圏において民間工事の受注拡大に取り組んでまいりました。

この結果、受注高267億5千万円(前年同期比38.6%増)、売上高206億7千万円(前年同期比221.3%増)、営業利益4億円(前年同期比418.8%増)となりました。

(北陸電話工事グループ)

通信事業者からの設備建設工事の受注拡大に加え、ITソリューション分野ではモバイル事業者等のシステム開発案件の増加や、社会インフラ分野の受注拡大にも取り組んでまいりました。

この結果、受注高109億5千万円(前年同期比116.8%増)、売上高97億5千万円(前年同期比191.2%増)、営業利益2億3千万円(前年同期比12.6%増)となりました。

(コムシス情報システムグループ)

NTT系とNEC系のセカンダリービジネスの事業拡大に向けた新規分野への参入・拡大を進めてまいりました。この結果、受注高は、NTT系大型案件の前倒し受注及びキャリア系や金融系案件での拡大により93億円(前年同期比10.6%増)、売上高80億5千万円(前年同期比11.0%増)、営業利益10億円(前年同期比11.8%増)となりました。

(注) 2018年10月1日付で、NDS株式会社、株式会社SYSKEN、北陸電話工事株式会社の3社を株式交換により当社の完全子会社としております。この結果、セグメント情報において、前第3四半期連結会計期間より同3社及び同3社の子会社を「NDSグループ」「SYSKENグループ」「北陸電話工事グループ」とし、報告セグメントに加えております。

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、コムシスグループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億3千万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間においてコムシスグループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## (4) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設のうち、当第3四半期連結累計期間に完了したものは、次のとおりであります。

会社名 事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資総額 (百万円)	完了年月
東京舗装工業(株) 枚方合材工場 (大阪府枚方市)	日本コムシスグループ	合材プラント 設備・事務所	641	2019年8月
日本コムシス(株) 品川港南ビル (東京都港区)	日本コムシスグループ	駐車場	4,810	2019年10月

当第3四半期連結累計期間において、新たに確定した主要な設備の新設の計画は、次のとおりであります。

会社名 事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)				
日本コムシス(株) 宇都宮新テクノス テーション(仮称) (栃木県宇都宮市)	日本コムシス グループ	工事基地 事務所	2,432	1,218	自己 資金	2019年9月	2020年10月	工事事務所集約によ る業務生産の向上
NDS(株) 賃貸用不動産 (愛知県名古屋市中 区)	NDS グループ	賃貸用不動産	1,643 (注)1	403	自己 資金	2019年7月	2021年1月	(注)2
NDS(株) 分譲用不動産 (愛知県名古屋市中 区)	NDS グループ	分譲用不動産	1,529	707	自己 資金	2019年9月	2021年1月	(注)2

(注) 1 賃貸用不動産は、投資予定額の総額を1,279百万円から1,643百万円に変更しております。

2 完成後の増加能力については合理的に算定できないため記載しておりません。

また、当第3四半期連結累計期間において、新たに確定した除却等の計画はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	580,000,000
計	580,000,000

## 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	141,000,000	141,000,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 100株であります。
計	141,000,000	141,000,000	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

## 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	141,000,000	-	10,000	-	10,000

## (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,585,400 (相互保有株式) 普通株式 90,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 127,043,900	1,270,439	-
単元未満株式	普通株式 280,300	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	141,000,000	-	-
総株主の議決権	-	1,270,439	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が、それぞれ4,149株(議決権41個)及び49株含まれております。

2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式47株が含まれております。

## 【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) コムシスホールディングス 株式会社	東京都品川区東五反田二丁 目17番1号	13,585,400	-	13,585,400	9.63
(相互保有株式) 九州電機工業株式会社	熊本県熊本市北区大窪二丁 目8番22号	6,800	-	6,800	0.00
(相互保有株式) 九州通信産業株式会社	熊本県熊本市北区四方寄町 1291号	1,000	-	1,000	0.00
(相互保有株式) 株式会社サンレック	東京都板橋区成増一丁目30 番13号 トーセイ大樹生命 ビル	1,200	-	1,200	0.00
(相互保有株式) 株式会社ジンワ	埼玉県戸田市本町五丁目11 番15号	2,200	-	2,200	0.00
(相互保有株式) 日本協同建設株式会社	三重県亀山市阿野田町1036 番地の3	7,400	-	7,400	0.00
(相互保有株式) 株式会社東海通信資材サー ビス	愛知県名古屋市中区二丁目 15番18号 名古屋通信ビル	71,800	-	71,800	0.05
計	-	13,675,800	-	13,675,800	9.69

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（1949年建設省令第14号）に準じて記載しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	28,618	53,277
受取手形・完成工事未収入金等	1, 2 169,186	1, 2 116,627
未成工事支出金等	28,983	48,882
その他のたな卸資産	4,576	5,863
その他	15,783	18,150
貸倒引当金	136	81
<b>流動資産合計</b>	<b>247,013</b>	<b>242,718</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物(純額)	41,847	43,455
土地	65,748	67,762
その他(純額)	28,148	28,230
<b>有形固定資産合計</b>	<b>135,744</b>	<b>139,448</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	4,999	4,176
その他	4,606	4,093
<b>無形固定資産合計</b>	<b>9,606</b>	<b>8,270</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	27,712	29,861
その他	20,205	20,390
貸倒引当金	356	356
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>47,561</b>	<b>49,896</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>192,912</b>	<b>197,615</b>
<b>資産合計</b>	<b>439,926</b>	<b>440,333</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形・工事未払金等	277,685	257,316
短期借入金	8,543	31,983
未払法人税等	6,017	658
未成工事受入金	4,045	7,694
引当金	1,251	979
その他	18,583	16,843
<b>流動負債合計</b>	<b>116,125</b>	<b>115,476</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,212	1,301
再評価に係る繰延税金負債	1,369	1,369
退職給付に係る負債	13,508	13,633
役員退職慰労引当金	622	580
その他	3,628	4,028
<b>固定負債合計</b>	<b>22,340</b>	<b>20,914</b>
<b>負債合計</b>	<b>138,466</b>	<b>136,390</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	91,549	92,149
利益剰余金	223,261	229,376
自己株式	20,539	25,226
<b>株主資本合計</b>	<b>304,271</b>	<b>306,299</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	2,810	3,334
繰延ヘッジ損益	0	3
土地再評価差額金	7,905	7,905
退職給付に係る調整累計額	802	867
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>5,898</b>	<b>5,434</b>
新株予約権	657	599
非支配株主持分	2,428	2,479
<b>純資産合計</b>	<b>301,459</b>	<b>303,943</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>439,926</b>	<b>440,333</b>

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	304,303	374,769
売上原価	263,926	327,520
売上総利益	40,377	47,249
販売費及び一般管理費	20,612	26,091
営業利益	19,764	21,158
営業外収益		
受取利息	14	20
受取配当金	428	707
固定資産賃貸料	166	256
その他	224	308
営業外収益合計	833	1,292
営業外費用		
支払利息	20	38
賃貸費用	81	134
その他	60	57
営業外費用合計	161	231
経常利益	20,436	22,219
特別利益		
投資有価証券売却益	44	39
固定資産売却益	22	25
受取補償金	-	84
負ののれん発生益	5,159	-
その他	20	20
特別利益合計	5,246	170
特別損失		
固定資産除却損	28	44
減損損失	329	-
特別退職金	60	80
その他	176	56
特別損失合計	595	180
税金等調整前四半期純利益	25,087	22,209
法人税等	6,786	7,634
四半期純利益	18,301	14,575
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	115
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,272	14,459

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	18,301	14,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,930	531
繰延ヘッジ損益	2	3
退職給付に係る調整額	137	64
その他の包括利益合計	2,071	470
四半期包括利益	16,229	15,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,208	14,923
非支配株主に係る四半期包括利益	21	123

## 【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## (1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であった北東通信建設株式会社は、2019年4月1日付で連結子会社である愛知NDS株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。また、連結子会社であったNDSアイコス株式会社は、2019年4月1日付で連結子会社であるNDSソリューション株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。これにより、北東通信建設株式会社及びNDSアイコス株式会社の連結子会社2社を連結の範囲から除外しております。

当第3四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社日本ソーラーパワーは、2019年10月1日付で連結子会社である株式会社日本エコシステムを存続会社とする吸収合併により消滅しております。また、連結子会社であった日本海通信建設株式会社は、2019年10月1日付で連結子会社である株式会社トース新瀾を存続会社とする吸収合併により消滅しております。これにより、株式会社日本ソーラーパワー及び日本海通信建設株式会社の連結子会社2社を連結の範囲から除外しております。

## (2) 変更後の連結子会社の数

73社

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## (会計方針の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。

## (四半期連結貸借対照表関係)

## 1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	18百万円	33百万円

## 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	182百万円	285百万円
支払手形	219 "	250 "

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	5,316百万円	6,799百万円
のれんの償却額	837 "	823 "

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会(注)1	普通株式	2,865	25.00	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金
2018年11月6日 取締役会(注)2	普通株式	3,404	30.00	2018年9月30日	2018年12月5日	利益剰余金

(注)1 連結子会社が所有している自己株式に係る受取配当金(1百万円)を含めております。

2 連結子会社が所有している自己株式に係る受取配当金(1百万円)を含めております。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は、前連結会計年度末より30,631百万円増加し、91,515百万円となっております。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より19,387百万円減少し、18,626百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

## 株式交換

当社は2018年10月1日を効力発生日として、( )当社を株式交換完全親会社、NDS株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換、( )当社を株式交換完全親会社、株式会社SYSKENを株式交換完全子会社とする株式交換、( )当社を株式交換完全親会社、北陸電話工事株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を各々実施し、自己株式16,509千株を交付いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が30,313百万円増加し、自己株式が24,501百万円減少しております。

## 自己株式の取得

当社は2018年5月8日開催の取締役会の決議に基づき、2018年5月9日から2018年11月27日までの期間に自己株式1,702千株を取得しております。また、2018年11月6日開催の取締役会の決議に基づき、2018年11月7日から2018年12月31日までの期間に自己株式361千株を取得しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,999百万円増加しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	3,861	30.00	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金
2019年11月8日 取締役会	普通株式	4,484	35.00	2019年9月30日	2019年12月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は、前連結会計年度末より600百万円増加し、92,149百万円となっております。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より4,687百万円増加し、25,226百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

株式交換

当社は2019年4月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、北有建設株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換、当社を株式交換完全親会社、北興産業株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を各々実施し、自己株式383千株を交付いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が517百万円増加し、自己株式が639百万円減少しております。

自己株式の取得

当社は2019年5月10日開催の取締役会の決議に基づき、2019年5月13日から2019年11月27日までの期間に自己株式1,737千株を取得しております。また、2019年11月8日開催の取締役会の決議に基づき、2019年11月11日から2019年12月31日までの期間に自己株式307千株を取得しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,981百万円増加しております。



## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								
	日本コムシスグループ	サンワコムシスエンジニアリンググループ	TOSYSグループ	つうけんグループ	NDSグループ	SYSKENグループ	北陸電話工事グループ	コムシス情報システムグループ	計
売上高									
外部顧客への売上高	180,754	36,535	14,853	33,837	20,088	6,434	3,350	7,253	303,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,503	653	3,332	859	728	1	266	1,087	12,431
計	186,258	37,189	18,185	34,696	20,816	6,435	3,616	8,340	315,538
セグメント利益	12,186	2,714	576	2,073	1,149	78	209	894	19,882

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
売上高				
外部顧客への売上高	1,197	304,303	-	304,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,466	24,898	24,898	-
計	13,663	329,201	24,898	304,303
セグメント利益	9,519	29,401	9,636	19,764

(注)1 「その他」の区分は、人材派遣事業、シェアードサービス事業等及び事業セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益の調整額は、当社及びセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、新たに「NDSグループ」「SYSKENグループ」「北陸電話工事グループ」を追加しております。これは2018年10月1日付で株式交換によりNDS株式会社、株式会社SYSKEN、北陸電話工事株式会社が完全子会社となったためであります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本コムシスグループ」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては240百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

2018年10月1日付で株式交換によりNDS株式会社、株式会社SYSKEN、北陸電話工事株式会社を完全子会社としたことに伴い、負ののれん発生益5,159百万円を当第3四半期連結会計期間において特別利益に計上しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								計
	日本 コムシス グループ	サンワ コムシス エンジニア リング グループ	TOSYS グループ	つうけん グループ	NDS グループ	SYSKEN グループ	北陸電話 工事 グループ	コムシス 情報 システム グループ	
売上高									
外部顧客への 売上高	185,182	39,013	17,136	33,595	60,094	20,675	9,756	8,051	373,505
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,666	458	2,099	1,214	1,808	67	728	1,040	12,083
計	189,848	39,472	19,235	34,809	61,903	20,742	10,485	9,091	385,588
セグメント利益	10,355	3,609	178	2,333	2,570	406	235	1,000	20,688

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	1,263	374,769	-	374,769
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,955	27,038	27,038	-
計	16,219	401,808	27,038	374,769
セグメント利益	11,847	32,536	11,377	21,158

(注) 1 「その他」の区分は、人材派遣事業、シェアードサービス事業等及び事業セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）であります。

2 セグメント利益の調整額は、当社及びセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	153円11銭	112円60銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	18,272	14,459
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	18,272	14,459
普通株式の期中平均株式数(千株)	119,340	128,419
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	152円51銭	112円30銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)	-	-
(うち支払利息(税額相当額控除後)(百万円))	-	-
普通株式増加数(千株)	468	341
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

## 2【その他】

2019年11月8日開催の取締役会において、当期の中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| (1) 中間配当金の総額          | 4,484百万円   |
| (2) 1株当たりの金額          | 35円00銭     |
| (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 2019年12月4日 |

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月12日

コムシスホールディングス株式会社

取締役会 御中

### 仰星監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 川崎 浩 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 原 伸夫 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 新島 敏也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコムシスホールディングス株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、コムシスホールディングス株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。